

生徒との関係づくりから  
彼の困難さに気づくまで

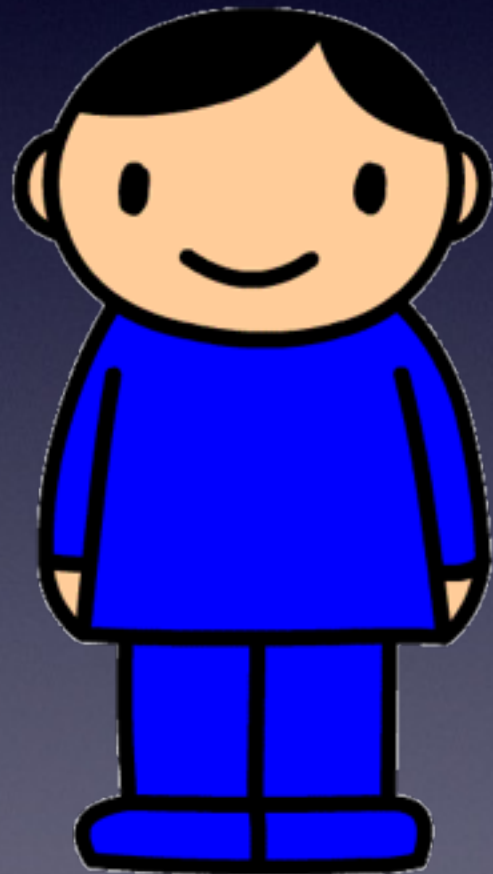
大分県立日田支援学校  
教諭 高野嘉裕



# 今年度の担当生徒

中学部3年生

## 障がいの内容



- ・ 知的障がい
- ・ ダウン症



# 今年度の担当生徒

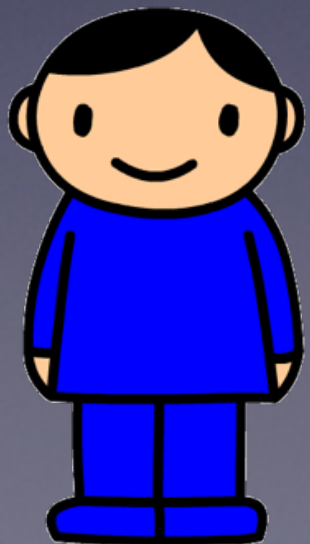
実態から

表出

有意な発語は無い  
指差しなどの選定もない

行動

ゆっくり  
受動的



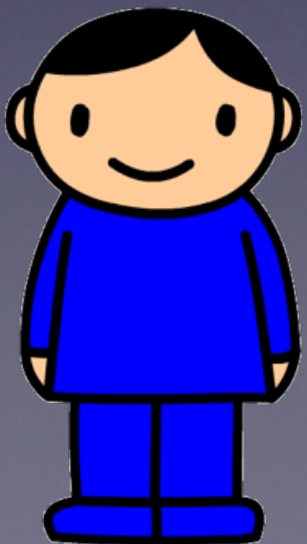
# 今年度の担当生徒

事前情報

表出 有意な発語は無い 表出困難  
指差しなどの選定もない

行動 ゆっくり 身体的支援を要する  
受動的

写真カードなどの  
視覚的支援指導中





# 今年度の担当生徒

## この段階での見立て

表出 発語は無い

指差しなどの選定もない 表出困難



発信の少なさ

行動 ゆっくり  
受動的

身体的支援を要する  
写真カードなどの  
視覚的支援



自発的な行動の少なさ

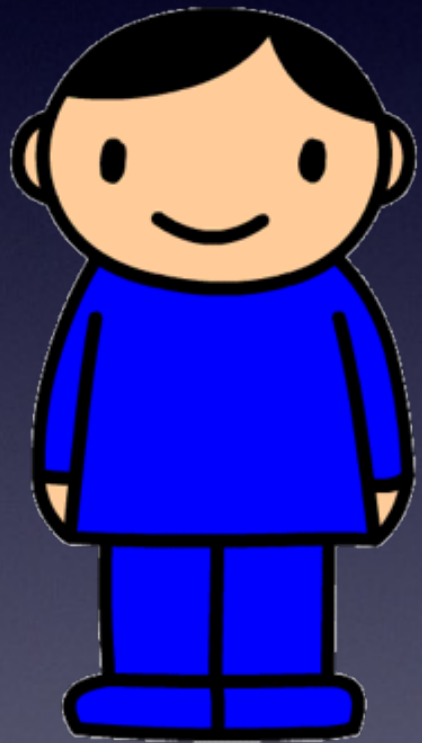


# 今年度の担当生徒

発信とその意味

声を出す  
走る

本人の気分が高揚している時  
楽しい・嬉しいとき



クレーン行動

要求行動として  
(家庭・学校)

座り込む

嫌なとき

見とおしが持てていないとき

気温・天候

これらの表出を教師の判断基準とする



# 関連性理解の確認

簡単なアプリを使って、操作と反応の因果関係や理解度を観察



PocketPond



Ripple HD

- ・ どちらのアプリも即時に反応がある。





# 関連性理解の確認



Ripple HD



興味を示す姿が多く見られた





# 関連性理解の確認



特に自分の姿がリアルタイムで映っているものに  
反応がよかった

アニメや音楽ビデオについても反応があった



# 関連性理解の確認

- ・ タブレットを触ると反応があるという関係については理解している
- ・ 基本操作の使い分けは難しく、タップを繰り返すことが多かった



特に反応が強かった動画を利用した「見とおし  
を示す指導」が有効ではないかと仮定した





# 活動 1 見とおしを示す指導

自分の仕事を理解して、取り組むために



カメラ



写真

カメラアプリで画像や動画を記録  
それを提示して、何をするのか伝える



# 活動 1 実践の方向性

- ・ 自発的な行動への支援  
(タブレットへの興味やこれまでの支援内容から)



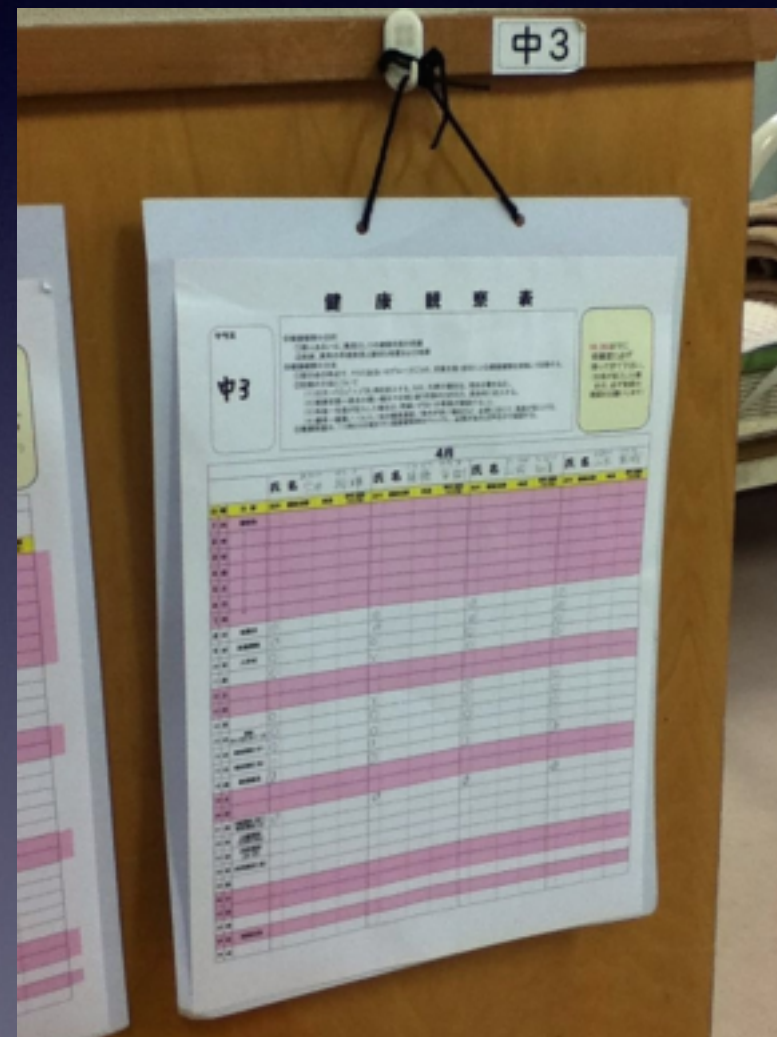
- ・ 写真アプリでかかりの仕事を提示  
(保健室へ健康観察のカードをとりにいく)





# 具体的な実践

係の仕事として毎日行く必要があり、本人の笑顔がでる場所（保健室）の画像を提示




画像は見るが、その後の行動に繋がらなかった



# 実践の方向性

- ・ 自発的な行動への支援  
(タブレットへの興味やこれまでの支援内容から)



- ・ 写真アプリでかかりの仕事を提示   
(保健室へ健康観察のカードをとりにいく)



# 実践の方向性

- ・ 自発的な行動への支援  
(タブレットへの興味やこれまでの支援内容から)



- ・ 写真アプリで係の仕事を提示  
(保健室へ健康観察のカードをとりにいく)



- ・ 動画で係の仕事を提示  
(本人が写っている動画を提示)





# 具体的な実践

目的の場所に向かい、そこへ入るまでの動画を提示







4月22日



5月22日





7月9日



# 実践の方向性

- ・ 自発的な行動への支援  
(タブレットへの興味やこれまでの支援内容から)



- ・ 写真アプリで係の仕事を提示  
(保健室へ健康観察のカードをとりにいく)



- ・ 動画で係の仕事を提示  
(本人が写っている動画を提示)





# 生徒の実態から

ところが・・・

タブレットの効果？

or

繰り返しによる定着？





# 生徒の実態から



そして・・・

これらは本当に本人の困りを解消する支援となっていたのか・・・？



再度、生徒の様子を見直してみる



# 実践の見直し

- ・ 自発的な行動が少ない  
(移動や行動が受動的な場面が多い)



- ・ そもそも、自発的な行動とは??  
(好きなこと、意欲的、学校の流れ、係)



# 実践の見直し

## 本人が楽しめる活動



興味や関心に合わせて

- ・ 自発的な行動が少ない

(移動や行動を促される場面が多い)



学校の流れや係の仕事





# 実践の見直し

## 本人が楽しめる活動



興味や関心に合わせて

- ・ 自発的な行動が少ない

(移動や行動を促される場面が多い)



教師の思いが強い？

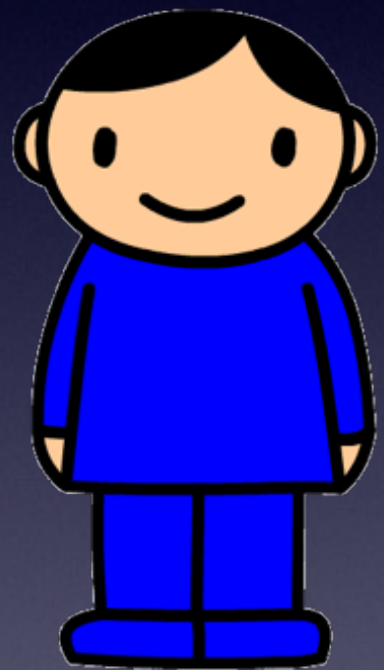
学校の流れや係の仕事



# 今年度の担当生徒

実態から

想定される困り



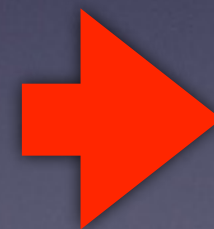
表出 有意な発語は無い



発信の少なさ

行動

ゆっくり  
受動的



自発的な  
行動の少なさ

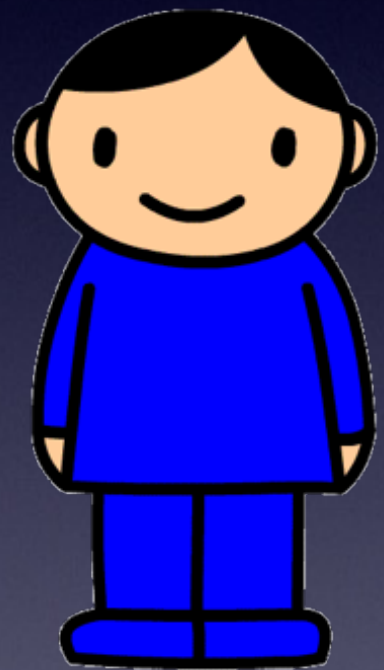
本人の困りでなく、教師の困りだった



# 今年度の担当生徒

本人からの発信

発声



座り込む

走る

本人の発信を求める

自傷行動

クレーン行動

一つ一つから、本人の表出の  
意図を探し出す

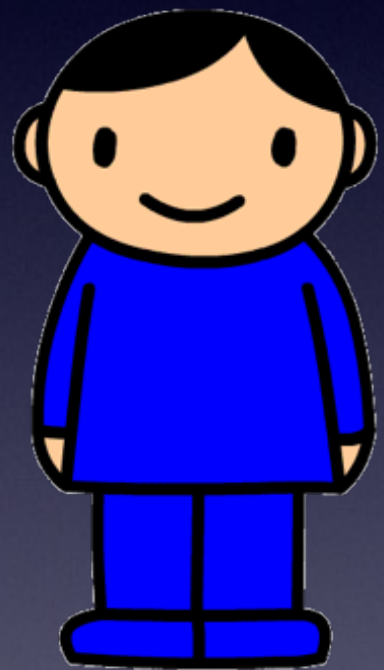




# 今年度の担当生徒

本人からの発信

発声



座り込む

走る

本人の要求を求めるべき

自傷行動

クレーン行動

一つ一つから、本人の表出の  
意図を探し出す



# 再計画

- ・ これまでの姿や行動の見直しをする  
(本人へ求めていたものから)



- ・ 本人の様子を丁寧に見るようになる  
(こちらの観点をより細かく広くする)





# 実践2の方向性

- ・ 本人が好むものを教材として、活動に意味を持てるようにする
- ・ 好きなもの、好きな友だちに対しての関わりをとおして表出を探る



# 実践2をはじめてから



好きな友だちの写真を触る

→好みがある

→指差しに近い行動

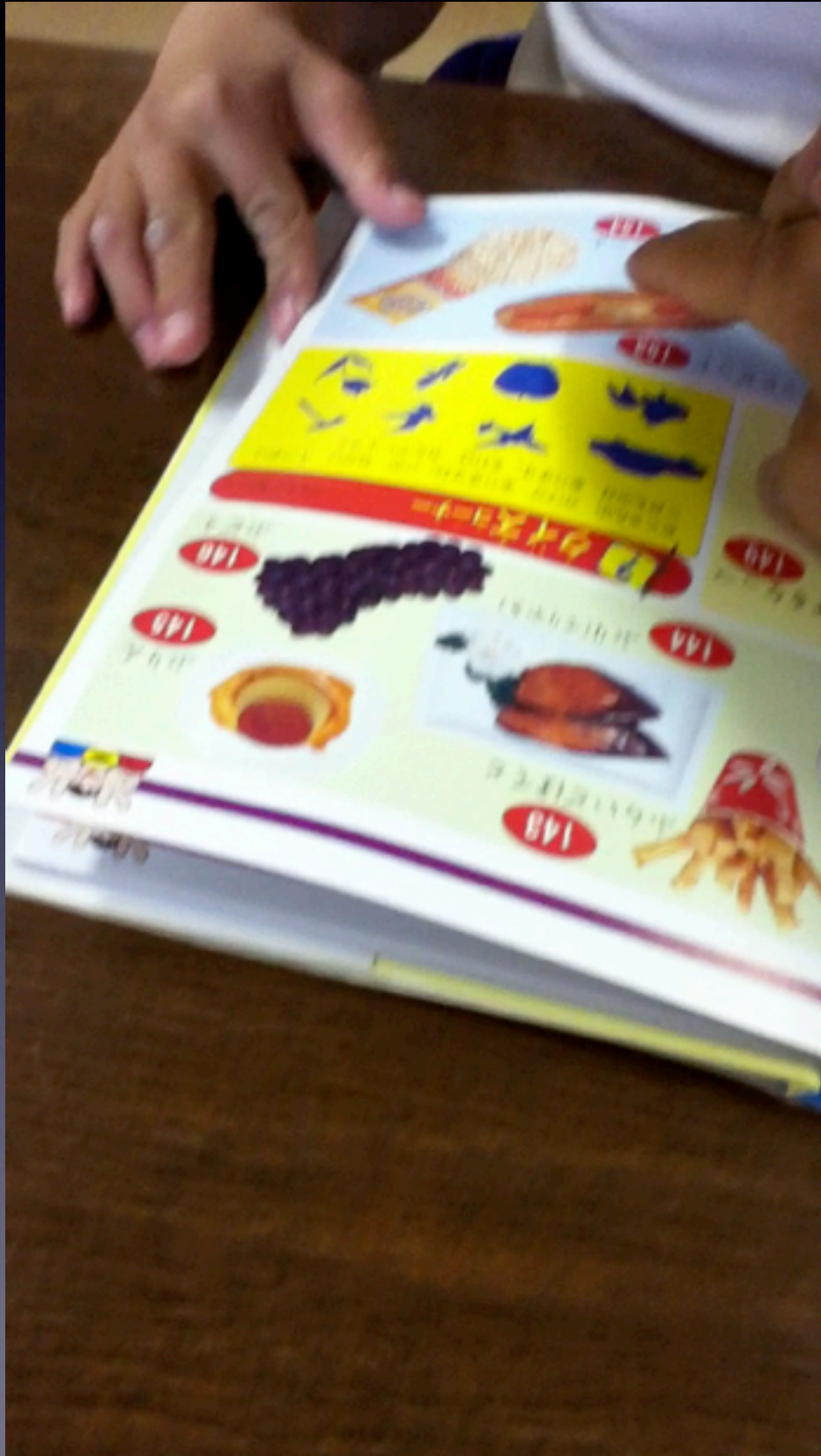
→実物と写真の関係理解

→3枚からの選択





## 活動2 本人からの表出を求めて



新しく見えてきたもの



好きな絵本  
好きなページ  
好きな食べ物

タップでトントン





## 活動2 本人からの表出を求めて

タップでトントン



好きなことの要求

好きな食べ物の選択



絵本の中の食べ物と実際の  
食べ物がつながっている  
VOCAへの可能性



# これまでのまとめとして

表出が少ない



担任にはとらえる方法が  
みえてきた

本人からの表出はある

好みがあること

実物と写真をつなげて考えることができる

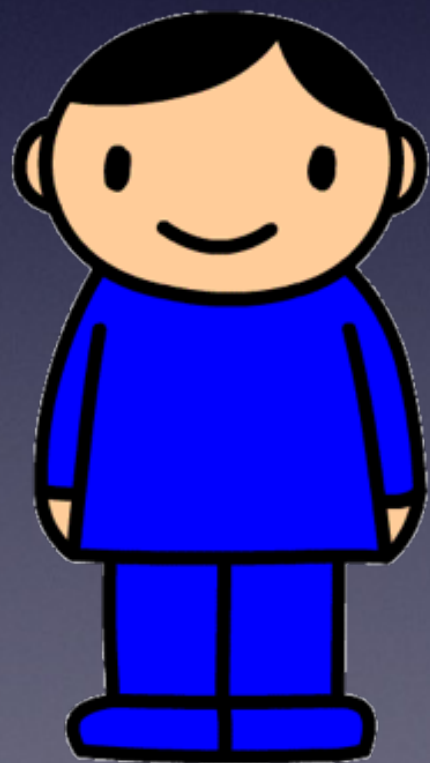
多数の中から選択ができる



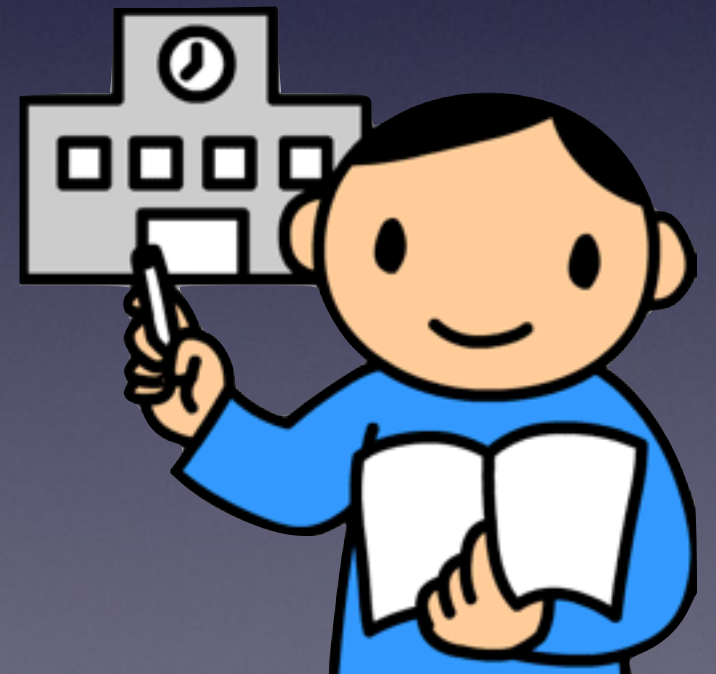


# これまでと今後

本人の行動を丁寧に見直すことで、その意図  
や困難さに気づき、学習の見直しを行った  
(改善策からの現段階)



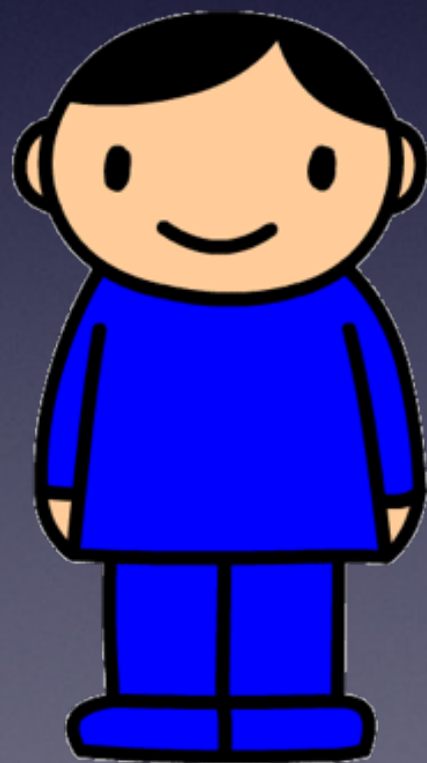
本人と担任の間の言葉



# これまでと今後

基本的な表出行動を広げるために、弁別やマッチングなどの学習を継続

(これからの展望)



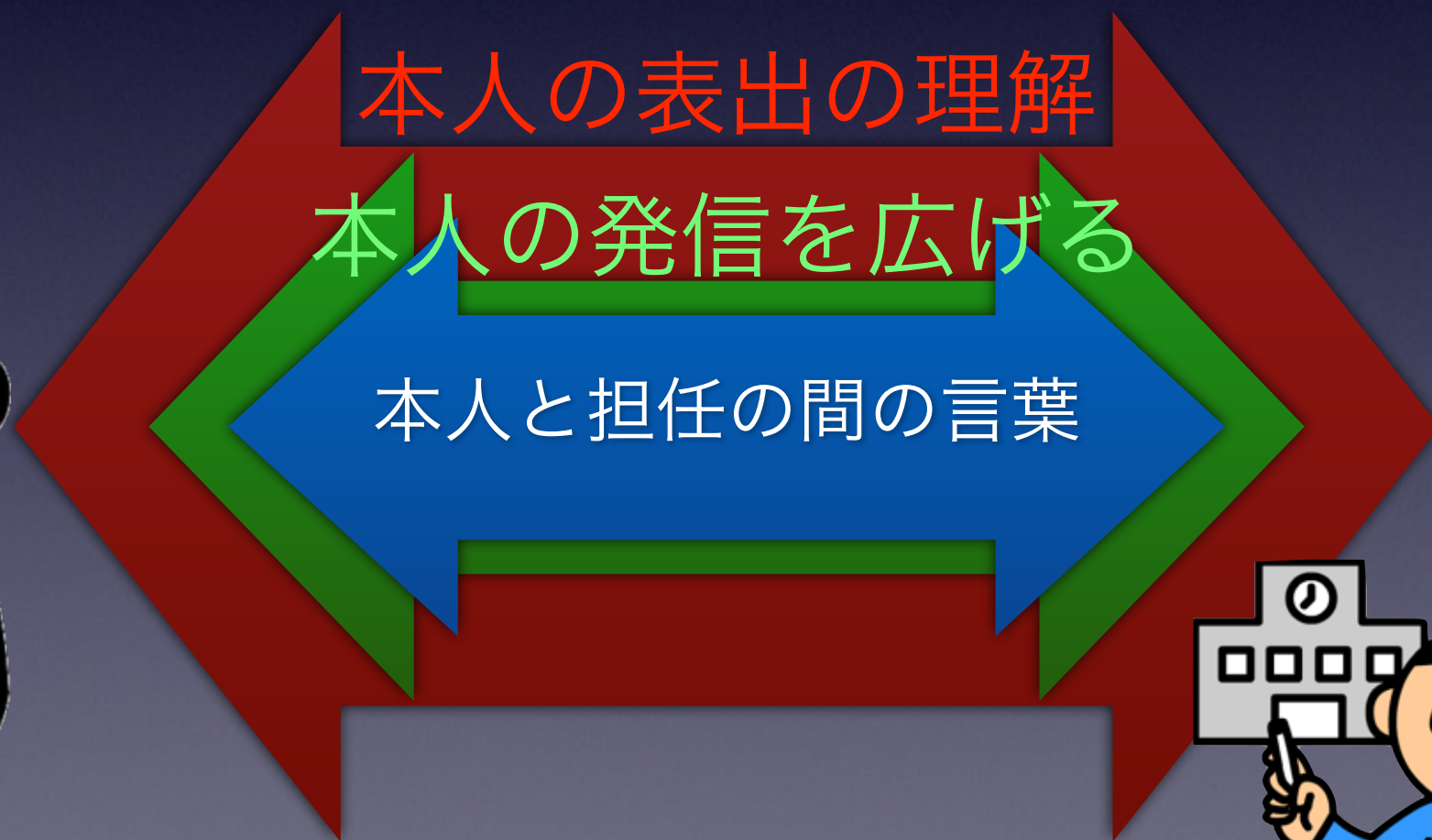
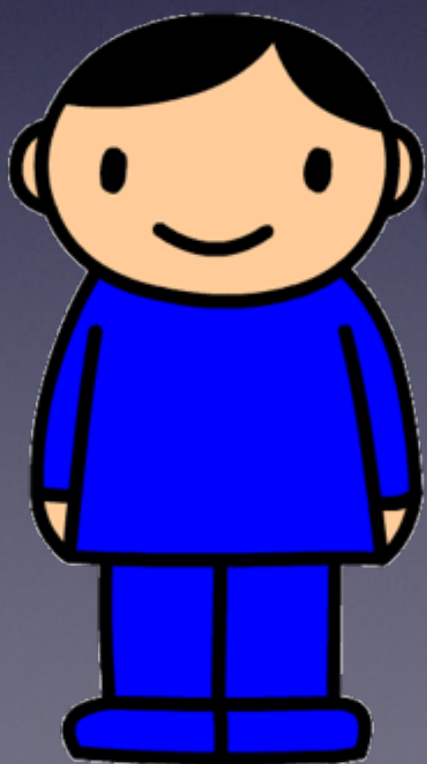
本人の発信を広げる

本人と担任の間の言葉



# これまでと今後

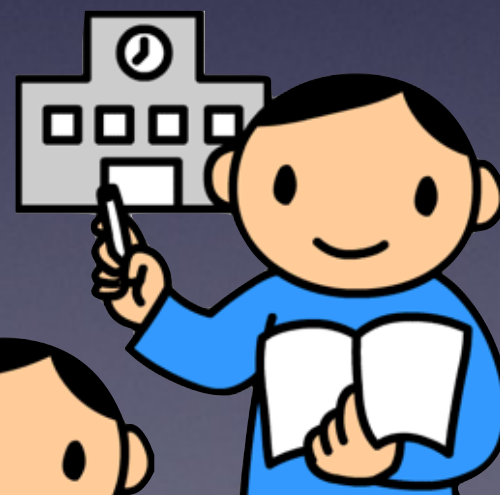
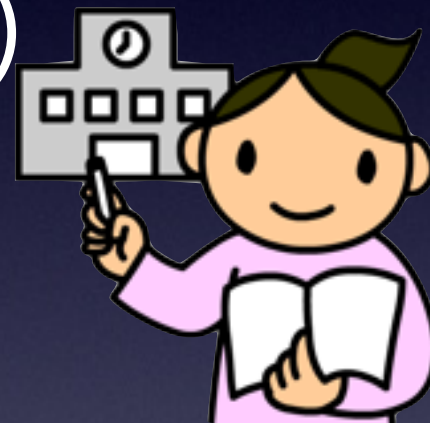
これまでは丁寧に見ていくことで理解できた  
表出行動を共有することで、誰に対してもわ  
かるものにしていく（これからの展望）



本人の表出の理解

本人の発信を広げる

本人と担任の間の言葉





# これまでと今後



集団活動に参加し、自分へのボールを打ち返すことができる

友だちへの興味を示す姿



より広い世界への可能性

